



明倫の子、冬チャレンジ!

今週末から約2週間の冬休みに入ります。各ご家庭では、新しい年を迎えるために、様々な準備をされることと思います。子どもたちには、その中で何か自分の役割をもたせ、やり遂げるようにさせたいものです。その子がそれをしないと、うちの中が困ってしまう。逆に言えば、その子がそれをするによってうちの中の生活が成り立つ。そんな役割をお子さんといっしょに考え、取り組むようにさせてはいかがでしょうか。子ども自身が「うちの中でなくてはならない存在なんだ」と、強く感じることでしょう。「ありがとう」の言葉が、お子さんの心にきっと響きます。



この冬休みの時間を利用して「明倫の子、冬チャレンジ!」に取り組んでみてはいかがでしょうか。学習面でもよし。もちろん生活面でもよし。親子で話し合っただけ決めた目標をもとに、チャレンジしてみるのもよいと思います。ぜひ、取り組んでみてください。

【明倫の子、冬チャレンジ例】

- ・ 漢字書き取りチャレンジ 正しく「とめ」「はね」「はらい」、「正しい書き順」一日10文字チャレンジ（これまでに学習した漢字を繰り返し練習する。 ※予習チャレンジもよいと思います）
- ・ 1分計算チャレンジ 1分間で何問解けるか計算問題に取り組む。（毎日取り組み、グラフに表してもよいと思います）
- ・ 3冊読破チャレンジ（目標の冊数を決め、読書に取り組む。 ※感想も簡単にまとめてみるとよいと思います。）
- ・ 一日1回ありがとうチャレンジ（うちの中で役割をもち、やり遂げる。 ※おうちの方からの「ありがとう」の言葉が、さらにすてきな力を生み出していくことと思います。）
- ・ 毎日あいさつチャレンジ（「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみさい」などのあいさつをする。）



学習発表会のご参観、ありがとうございました!!

学習発表会には、多数の保護者の方にご参観いただき、ありがとうございました。お子さんの発表はもちろん、他の学年の発表も参観していただけた方もいたかもしれません。子どもたちの学習の成果や頑張りの様子を感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

保護者の方のアンケート結果から「堂々と発表できていて感動しました」「笑顔で発表していて見ている方も楽しくなりました」と読んでいてうれしくなるコメントをたくさんいただきました。また「低学年の頃と比べて発表が上手になったなあと思い、成長を感じました」「家に帰り、『上手だったよ』と伝えると照れくさそうにしていました」とすてきな会話をしていっしょやることを教えていただきました。次の成長へつながっていくよう、今後も指導を続けていきます。

【お子さんの発表や今日までの親子の会話から、生き生きと表現することのよさを感じられましたか。】

